

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標及び実績値等

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	
①学校運営上の課題	05 その他	支援ボランティアの固定化、高齢化がすすみ、人材の確保に課題がみられる。	・市内すべての小中学校において、地域学校協働活動推進員を最低1名配置した。 ・推進員は、学校と地域の連絡調整等を担い、支援ボランティアの確保に取り組んだ。	・市内すべての小中学校における地域学校協働活動推進員の配置を継続し、引き続き支援ボランティアの確保を図る。 ・地域学校協働活動推進員の意見交換の場を設け、各学校での活動や成果を共有する。	地域人材の積極的な活用により、学校の負担の軽減や児童生徒の学びの多様化の実現に取り組む。	学校行事等に参加するボランティア等の延べ人数	1306	人	1400	1840	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	昨年度に引き続き地域ボランティアを活用でき、児童生徒に伝統文化といった多様な学びを体験させることができた。また、今年度は地域住民による交通安全のための見守り活動の積極的な取り組みにより、無償ボランティアとして昨年に比べて多くの地域住民の協力を得ることができた。
③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	放課後児童クラブとの連携を図りながら居場所の確保や放課後等において多様な体験や学びの機会の充実を図ることが課題。	多様な体験や学びの機会は得ることができている。	・各小中学校区において、放課後子ども教室を月1回以上の開催 ・全ての小中学校区において放課後子ども教室の設置	学校以外で多様な体験や学びの機会を得ることが出来る児童が増える。	放課後子ども教室の開催回数	149	回	160	143	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	・地域の方との貴重なふれあいの機会を設けることができ、地域の良さに気づくとともに地域の方への感謝の気持ちが深まった。 ・開催できなかった教室のサポーターの確保及び今後の教室の在り方の見直しは課題